1963年9月20日　第3種郵便物許可（毎月一日発行）

福音新聞
THE GOSPEL NEWS

在日大韓基督教会
宣教100～110周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
（데살로니가전서 5:18）

2013年7月1日（月）　第720号
発行所　福音新聞社（1部100円）
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3202-5398
発行人/金 武士・編集人/洪 性完
fukuinshinbun@kccj.jp（福音新聞）
info@kccj.jp（総会事務局）

第47回 在日大韓基督教会と日本基督教団との宣教協力委員会

去る6月10日（月）、11日（火）に、伊豆長岡温泉ホテルにおいて、第47回在日大韓基督教会（以下、KCCJ）と日本基督教団（UCCJ）との宣教協力委員会が「両教会の宣教課題と宣教協力　－礼拝を巡って－」と題して開催された。

開会礼拝は、KCCJの宣教委員長である崔栄信牧師ではじまり、金武士牧師（総会長）が「言うべきことは、その時授けられる」（マタイ10：16－23）と題して説教した。その後、洪性完牧師（総幹事）の司会で、KCCJ出席者の紹介がまされた。UCCJは、長崎哲夫牧師（総幹事）が紹介した。前回議事録は朴太元牧師が報告した。そして両教会の総幹事によってそれぞれの教団についての活動報告と両教会の東日本大震災の被災状況が報告られた。

夕食後は、書記である権寧国牧師（福岡教会）の司会で、金健牧師（川崎教会・歴史共同研究委員）が「在日大韓基督教会の礼拝について－二重言語の礼拝についての考察－」発題をした。金牧師は、自分の礼拝との出会いを「異質な世界、異質な言語との出会い」と称しながら、こう言った。

韓国教会の受難と礼拝言語を歴史から辿り、韓国人なのに日本語で礼拝し伝道するという時代を取り上げた。今は在日4世に時代になり、各教会では分離型（韓国語礼拝と日本語礼拝に分かれている）、混在型（両国語を使用する）、韓国語のみ・日本語のみの教会での同時通訳が紹介され、人材の確保と牧師の二重言語の学習の大切さを述べた。

翌日は、大三島義孝牧師（幹事）の司会で雲然俊美牧師（秋田桜教会・書記）が「両教会の宣教課題と宣教協力－礼拝を巡って－」題して発題をした。伝道は礼拝から始まるし、礼拝は伝道に向かっているので、両教団の礼拝を学ぶことはとても大事であると述べた。

さらに、アイデンティティをどこに置くかの問題（日本人なのか韓国人なのか、日本人なのかクリスチャンなのか等）を考えることやアイデンティティを見出すことが大事であるが、聖書の御言葉は、「ユダヤ人もギリシア人もない。あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに神の子です…あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。」（ガラテヤの信徒への手紙3：26－29）と示していると述べた。

続いて、両教会の総幹事の共同司会のもとで、発題を受けての質疑討議を行った。質疑討議では、日本基督教団の礼拝の特徴（式文）と在日大韓基督教会の礼拝の特徴（韓国語と日本語の二重言語）が話された。

その中でも礼拝の様々な形式について熱い議論がなされた。その後、毎年8月に両教会から共同で発表される「平和メッセージ」について話し合った。さらに、宣教協約30周年について、歴史共同研究についても具体的な協議をした。

閉会礼拝は、伊藤瑞夫牧師（副議長）の司会で、石橋秀雄牧師（教団議長）が「いつものとおり自分の神に」（ダニエル書6：6－11）と題しての説教で、恵みと希望を抱きながら終わった。

（報告：編集部）

第52回定期総会 案内

第51回総会期第四回常任委員会は、第52回定期総会 日程及び会場確定いたしました。

詳細は、今後の総会招集公告をご覧ください。

※参照：在日大韓基督教会規則 第3章 第3条4，総代旅費（総代、準総代の交通費宿泊費は各地方会が負担し、女性会、青年会の代表はその機関が負担する。）

主題：聖霊によって証しする教会（ローマ9：1）
성령을 힘입어서 증거하는 교회（로마 9:1）

日程：2013年10月14日（月）11：00～
16日（水）15：00

会場：在日大韓基督教会　名古屋教会

宿泊：サンルートホテル、モンブランホテル

＜関東地方会＞ 第64回総会
東京教会に続き韓国YMCAで続会

第64回 関東地方会 定期総会가 지난 4月 29日 (月) 午前 10:30 부터 東京教会에서 開会되었다. 그러나 議事進行上 停会를 한 後에 6月 1日 (土) 에 在日本韓国 YMCA 에서 続会로 열려 주님의 은혜가운데 마치게 되었다.

먼저 4月 29日의 開会礼拝는 韓聖炫牧師의 社会로 金廣照長老가 祈祷를 한 後에 日本基督教団奥羽教区 総会議長인 邑原宗男牧師가「오직 하나님의 역사」라는 題目으로 설교하였다. 그리고 金 健牧師의 司式으로 聖餐式이 거행되었으며, 来賓들을 簡単히 紹介하고 挨拶하였다. 昼食 後 続会에서는 献議案인 大韓예수 教長老会京畿老会와의 交流의 件을 承認하고, 来賓 挨拶가 있었다. 그러나 議事進行은 東京教会의 総代権에 대한 異議로 더 이상 進行하지 못하자 賛成 多数로 停会를 可決하고, 対策委員会를 構成하여 続会를 열기로 하였다.

停会된 総会는 6月 1日 (土) 에 속회되어, 会長으로 金 建牧師, 金根湜牧師와 金廣照長老가 각각 副会長으로 選出되었다. 그리고 任員과 部長을 選任하여 承認하였다. 곧 이어 東京第一教会 林鮮亨牧師의 牧師加入式을 하였으며, 各部 報告는 書面으로 받고, 2012年의 決算報告와 監査報告를 承認하였다.

이어서 東京教会의 長老 5名 請願 等 7件의 献議案과 2013年度 予算案도 原案대로 可決되었다. 그리고 地方会 分立研究委員会는 1年 延長하기로 可決되었다. 閉会礼拝는 地方会長 金 建牧師의 社会로 郭恩珠牧師의 地方牧師 委任式과 더불어 金牧師가 고린도전서 12:18-20, 에베소서 4:2-3 로 말씀을 전한 후 祝祷로 定期総会를 마쳤다.

第64回 関東地方会에서 選出된 新任職員은 다음과 같다. 会長　金建牧師 (川崎教会, 牧師副会長 : 金根湜牧師 (한사랑教会), 長老副会長:金廣照長老 (横浜教会), 書記:姜章植牧師 (品川教会), 副書記:韓在文牧師 (水戸教会), 会計:金栄千長老 (辞任한 関係로 (第64回期 第2回 任職員会 (7月9日) 에서 林泰鎬牧師 (東京中央教会) 를 会計로 選任함), 副会計 : 申大永長老 (東京希望그리스도教会), 伝道部 : 韓聖炫牧師 (西新井教会), 教育部:曺泳石牧師 (盤石教会), 社会部:許伯基牧師 (つくば東京教会), 宣教協力部 : 金柄鎬牧師 (東京調布教会), 青年部:李明忠牧師 (横浜教会), 女性部:金漢羅牧師 (大宮教会), 荘年部 : 鄭有盛牧師 (東京東部教会)、考試部 : 金東洙 (東京希望그리스도教会), 視察部 : 金根湜牧師 (한사랑教会), 監査 : 許壬会長老 (한사랑教会), 崔永貴長老 (横浜教会)

(報告：姜章植)

＜中部地方会＞ 第50回総会
岐阜教会で開催

去る５月６日（月）午前11時より、岐阜教会にて、第５０回中部地方会定期総会が、主の御恵みの中で開催された。

開会礼拝は　金仁果牧師の司会で、李大宗長老の祈祷後、金性済牧師が「主があなたたちと戦われる」（出エジプト記14：13－14）という題で説教した。そして、金仁果牧師の司式による聖餐式が行われた。

そして、来賓として出席した総会長金武士牧師、日本基督教団中部教区議長井ノ川勝牧師（山田教会）より祝辞と挨拶がなされた。引き続き行われた議事では、各報告を承認し、会計朴洋子長老による2012年度の決算報告と金照男、李光世長老の監査報告を承認と2013年度予算案を可決した。

さらに、金仁果牧師を新会長に選出した。また、教会移転によって、「一宮伝道所」を「各務原がリラヤ伝道所」に改名する請願を含めて７件の献議案が賛成多数で可決された。新副会長洪領晃牧師の司会によって閉会礼拝に入り、新副会長金秀生長老の祈りに続き、金仁果牧師が「力を増して進め」（詩編84：1－13）という題で説教し、総会を終えた。

第50回定期総会にて選出された新任職員は次の通りである。会長：金仁果牧師（岐阜教会）、牧師副会長：洪領晃牧師（各務原がリラヤ伝道所）、長老副会長：金秀生長老（名古屋教会）、書記：権潤日牧師（浜松教会）、副書記：全炳玉牧師（名古屋南教会）、会計：朴洋子長老（名古屋教会）、副会計：李光世長老（名古屋教会）、道部長：金性済牧師（名古屋教会）、教育部長：全炳玉牧師（名古屋南教会）、社会部長：李根秀牧師（大垣教会）、青年部長：崔和植牧師（長野教会）、女性部長：鄭恵子勧士（名古屋教会）、考試部長、韓・日共同委員会及び電磁メデイア宣教委員会委員長（地方会長）、会計監査：李大宗長老（名古屋教会）、崔光一長老（名古屋教会）

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国ＹＭＣＡは皆様と共に歩みます。

東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。10名様～200名様の会議及び宿泊研修（50名）も可能。
・スペースＹホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。
・韓国文化教室【チャング・カヤグム・舞踊】・韓国語講座・各種こどもクラス
・ＹＭＣＡ東京日本語学校【3ヶ月～2年、短期研修】
関西◆にほんご教室《新規開講・募集中》韓国民俗芸術科【舞踊・チャンゴ】

税込	平日	休・休前日
シングル	¥6,500	¥6,000
ダブル	¥10,500	¥9,700
トリプル	¥13,500	¥12,500
朝食・コーヒー¥200（宿泊者価格）		

在日本韓国ＹＭＣＡ http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/　＊会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。
東京韓国ＹＭＣＡアジア青少年センター　〒101-0064　東京都千代田区猿楽町2-5-5　☎03-3233-0611
関西韓国ＹＭＣＡアジア青少年センター　〒537-0025　大阪市東成区中道3-14-15　☎06-6981-0782

＜関西地方会＞ 第 64 回総会 大阪教会で開催

去る 5 月 28 日（火）、第 64 回関西地方会定期総会が大阪教会において開催された。開会礼拝は、金容贊長老の司会のもと、金泰永牧師（釜山東老会副会長）が「銀を打ち出してラッパを作りなさい」（民 10:1-10）と題して説教した。その後、崔春子牧師の司式で聖餐式が執り行われた。

続いて、趙永哲牧師（地方会長）の司式で、牧師按手式（朴喜煥、林明基伝道師）、伝道師認許式（朴愛仙氏）、宣教師加入式（申容燮、宋南鉉牧師）、功労杯贈呈（朴珍烈名誉牧師、平野教会）が挙行された。その後、議長より開会辞が述べられ、会員点名が行われた。総代 83 名中 64 名の出席を確認し、開会宣言がなされた。さらに、来賓紹介及び祝辞があった。向井稀夫牧師（日本基督教団大阪教区 総会議長）、文斗實長老（大韓イエス教長老会 釜山東老会老会長）、金武士牧師（総会長）、中江洋一牧師（西部地方会会長）。その後、会順採択と前会議録が承認された。

午後からの議事では、各部報告、監査と決算報告がなされ、承認された。続いて任員改選を行い以下の通り選出された。会長：金必順牧師（堺）、副会長（牧師）：金鐘賢牧師（浪速教会）、（長老）：兪正根長老（京都）、書記：朴成均牧師（和歌山第一）、副書記：金鍾権牧師（平野）、会計：金錦順長老（布施）、副会計：金道榮長老（大阪）。

新旧任員交代後、献議案審議に移り、長老増員請願（京都３名、京都南部２名、大阪西成２名、大阪３名）と 2013 年度予算案を承認した。そして、金武士牧師を関西聖書神学院学院長として推薦することと、関西聖書神学院理事会理事・監査推薦（理事 11 名、監査２名）を承認した。さらに、納骨堂委員会規則改正案と、関西地方会規則　第２章２条４項の改正案、関西地方会規則　第３章４条２項の改正案がそれぞれ３分の２以上の賛成で可決された。閉会礼拝は、金鐘賢牧師（副会長）の司会のもと、新会長である金必順牧師が説教した後、林明基牧師が祝祷した。その後、金必順地方会長より閉会宣言がなされたら、午後５時５０分であった。（報告：朴成均）

＜西南地方会＞ 第 63 回総会 福岡中央教会で開催

去る 4 月 29 日、福岡中央教会にて第 63 回西南地方会定期総会が開催された。開会礼拝は地方会長鄭守煥牧師が「すべてを完成させるきずな－愛－」（コロサイの信徒への手紙 3：12 ～ 17）という題で説教をし、朱文洪牧師の司式で聖餐式を執り行った。

来賓として総幹事洪性完牧師、日本基督教団九州教区議長深澤奨牧師、同副議長梅崎浩二牧師、同書記松崎豊牧師、また、日本キリスト教会九州中会議長権藤国光牧師を紹介し、後に来賓の挨拶を受けた。

また、議事の中で朴米雄牧師と李恵蘭牧師の地方牧師委任式が執り行われた。議事の間に任員選挙を行い、地方会長をはじめ各任員を選出した。献議案審議として、長老選出について、福岡教会２名、博多教会１名、小倉教会１名がすべて承認された。また、地方会規則改正の件「牧師が委任を受ける前に着任・居住および牧会奉仕する場合は、地方会の承認を受けなければならない」を追加することを承認した。2013 年度予算案を審議し、「教会自立支援費」を設け、詳細を任職員会に委託することを含めて承認された。

閉会礼拝は新副会長姜富子長老の司会により、新地方会長金明均牧師が「Who am I（私は誰）？」（ヨハネ 13：34 ～ 35）という題の説教の後、崔正剛引退牧師の祝祷で閉会礼拝を終えた。出席者は総代 25 名、来賓・準総代６名、傍聴３名の計 34 名。会場と食事を準備提供して下さった福岡中央教会信徒のみなさまに感謝！

西南地方会第 63 会期の任員及び部長は以下の通りである。会長：金明均（福岡中央・牧師）、副会長：朱文洪（小倉・牧師）・副会長：姜富子（折尾・長老）、書記：金聖孝（熊本・牧師）、会計（財政部長）：金幸子（福岡中央・長老）、伝道部長：権寧國（福岡・牧師）、教育部長：朱文洪（小倉・牧師）、社会部長：鄭在植（下関・牧師）、青年部長：鄭守煥（折尾・牧師）、女性部長：李恵蘭（地方牧師）、視察部長：金長壽（福岡中央・長老）、考試部長：崔栄信（宇部・牧師）、宣教協力：金聖孝（熊本・牧師）、会計監査：金貞子（小倉・長老）　李相根（下関・長老）
（報告：金聖孝）

＜中部地方会＞　岐阜教会 創立60周年記念礼拝

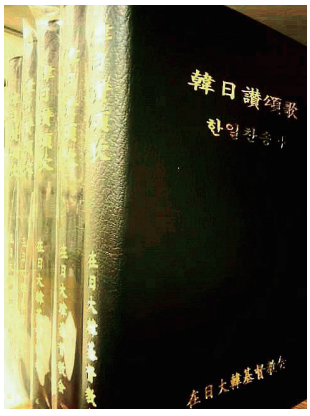
中部地方会　岐阜教会（牧師　金仁果）が創立60周年も迎えた。5月26日主日、まず午前の主日礼拝で、担任の金仁果牧師はメッセージによって、神様の深き恵みの導きによる60周年を感謝し、また新しい時代に「神の希望」を伝える神の宣教の課題のため、岐阜の地で、前進して行く教会になることを伝えた。

午後3時30分、中部地方会の所属教会の牧会者、信徒及ぶ日本基督教団岐阜地区の牧師と信徒など100人以上が集まって、創立記念感謝礼拝が、担任金仁果牧師の司会によって行われたた。礼拝の説教において、金性済牧師（名古屋教会）は、岐阜に住んでいた在日韓国人の信徒が日本人と力を合わせ、イエス・キリストの体の教会共同体を建ってて、昏い時代を乗り越え、今、60周年を迎えたことを感謝し、教会の明るい未来を祈るという内容の説教が行われた。

記念礼拝では、鄭順徳、朴鍾淑，李戊順3人の勧士に名誉勧士の推戴、そして鄭仁仙執事を勧士に任職した。また総会から総幹事洪性完牧師の祝辞があった。

礼拝では、名古屋教会聖歌隊、名古屋南教会の聖歌隊の祝賀頌、岐阜教会の聖歌隊との聯合讃美が岐阜教会の信徒と参席者に感動的に心に響いた。この日『岐阜教会60年』の短い映像も発表された。

（報告：金仁果）



한일 대조 찬송가
韓日対照讃美歌

新しく印刷しました。ご購入希望の方（各教会）は、総会事務所までお問い合わせ下さい。

1冊：2，000円

（総会教会価格。黒色のみ）

総会事務所
(03－3202－5398)

＜関西地方会＞　聖書神学院 2012年度　卒業式挙行

2012年度 関西聖書神学院 卒業式이 3月 24日 午後3時，本校舎（大阪北部教会）에서 挙行되었다．卒業礼拝는 本神学院의 教務인 趙永哲牧師（大阪北部教会）의 司会로 理事인 朴龍洙牧師（京都教会）의 祈祷，大阪北部教会 聖歌隊에 의한 特別讃揚，그리고 在日韓国基督会館 (KCC) 의 名誉館長이면서 本神学院의 講師인 李清一牧師가「使命を生きる（사명을 따라서）」라는 메시지를 伝했다．

그 後，学院長인 鄭然元牧師（大阪教会）에 의해 卒業証書授与와 理事長인 全聖三牧師（布施教会）로부터 祝辞가 있었고 마지막으로 総会長이면서 本神学院의　教授인 金武士牧師（西成教会）의 祝祷로 卒業礼拝를 모두 마쳤다．

今年度에 卒業 한 神学生은 本科 卒業生으로서 李龍燦（大阪教会），研究科修了生으로서　金英子（大阪教会），盧守基（大阪教会），篠崎常幸（西宮教会），尹美来（大阪教会）等 5名이다．関西聖書神学院은 1984年에 在日大韓基督教会에서 섬길 人材養成，教会奉仕를 위한 信徒教育과 訓練，그리고 神学形成을 위해 関西地方会를 中心으로 設立된 以来 오늘에 이르고 있다．

（報告：趙永哲牧師）

福音新聞原稿募集

・内容：各報告、証し、説教、寄稿、自由投稿 等
・対象：在日大韓基督教会所属の全信徒
・言語：韓・日語（得意な言語でお願いします。）
・写真：2－3枚程度（添付ファイル）
・期間：年中（締め切り：毎月20日）
・送信先：fukuinshinbun@kccj.jp
　　shinacho2003@daum.net
＊文章は、wordファイルでお願いします。

福音新聞社　編集部

豊かな味、豊かな心。

妻家房
SAIKABO
代表取締役　呉 永錫（東京希望キリスト教会 長老）
四谷本店：東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

2013 年度牧師・伝道師考試及び宣教師加入考試
公　告

在日大韓基督教会の「2013 年度 牧師・伝道師考試及び宣教師加入考試」を以下のように実施します。

神学考試委員会細則（http://kccj.jp/archives/959）及び宣教師加入考試請願書（http://kccj.jp/archives/148）をもご参照ください。

一．日時：２０１３年９月２３日（月）
・会場集合：09：30
・筆記試験：10：00―17：00
・面接：17：00―19：00
※ 但し、宣教師加入考試に応ずる者は、人事部面接（2013.9.16. 14:00）を受けてから考試に臨むことになります。

二．場　所：大阪 KCC（在日韓国基督教会館）
・大阪市生野区中川西２－６－10
☎（06）6731 － 6801

三．考試科目
・牧師・伝道師考試：①旧約聖書　②新約聖書　③旧約釈義　④新約釈義　⑤組織神学　⑥教会史　⑦憲法（総会憲法・総会規則・裁判規程等）・KCCJ 神学（在日同胞史、KCCJ 史、KCCJ 宣教理念）
・宣教師加入考試：①憲法（総会憲法・総会規則・裁判規程等）②面接

四．提出書類（各正本 ２通）
・牧師・伝道師考試：①考試請願書（総会様式）　②地方会長推薦書（総会様式）③履歴書（総会様式）　④神学生研修会参加証明書（伝道師応試者）　⑤最終学校卒業証明書・卒業予定証明書　⑥最終学校成績証明書（伝道師応試者）　⑦写真２枚
・宣教師加入考試：①宣教師加入請願書　②牧師按手 証明書　③宣教師 派遣・推薦状　④宣教師 後援 約定書（宣教費等）　⑤日本宣教志望動機書　⑥履歴書 (総会様式）　⑦経歴証明書　⑧総会加入理由書　⑨最終学校 卒業証明書　⑩最終学校 成績証明書　⑪写真２枚

五．期　限：２０１３年８月３１日　必着

六．考試料：（願書提出時に、総会の口座に送金。８月３１日必着）
・牧師：２万円・伝道師：１万円・宣教師：１万円
＊郵便振込口座：０００１３０－９－１５９２２８
（在日大韓基督教会総会）
※考試料・交通費は、応試者の所属する各教会と各機関で補助して下さい。

七．提出先：総会事務局（〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田２－３－18―52 号　☎ 03 － 3202 － 5398）

２０１３年６月１日
総会長　金武士
神学考試委員長　李根秀

＜関西地方会＞　京都教会
長老将立式・名誉推戴式挙行

2013 年 5 月 19 日(主日)午後 4 時から京都教会において、裵良一長老の将立式、趙和子勧士の就任式及び高博長老、金絹江勧士、金信恵執事の名誉推戴式が執り行われた。

開式礼拝は、朴龍洙牧師の司会により祈祷後、李教錫牧師（京都南部教会）が聖書朗読をして、京都教会聖歌隊による讃揚（주 이름 찬양해）の後、鄭然元牧師（元総会長、大阪教会)が「教会に仕える幸せな長老」(テトスへの手紙Ⅰ 1:5－9）と題して説教した。

引き続き趙永哲牧師（関西地方会会長、大阪北部教会）の司式により長老将立式が行われた。引き続き、朴龍洙牧師の司式により勧士就任式、名誉長老・勧士・執事推戴式がそれぞれ行われた。その後､青年会の祝歌と勧勉と祝辞に移り、金聖三牧師（元関西地方会会長、布施教会）の勧勉、金武士牧師（総会長、大阪西成教会)、金容贊長老（関西地方会副会長、高槻伝道所)、李龍熙長老（姉妹教会・釜山平光教会）の祝辞が各々心を込めて行われた。祝辞は、朴珍烈牧師（平野教会名誉牧師）のが述べて、全ての礼拝と司式を終えた。

祝賀会は、嚴敏俊長老の司会により、兪台植長老の感謝の祈りで始められ、地方会を中心とする多くの参会者の方々と喜びを分かち合うことが出来た。

裵良一長老（1968 年生）は、2004 年より執事として奉仕され、祖母は故金同連名誉勧士であり、母は金絹江名誉勧士である。

「このたびの式典が喜びと祈りと感謝の中で行われたことを主に感謝します。」

(報告：兪正根長老)

東日本大震災　KCCJ 募金口座案内

・銀行：三菱 UFJ 銀行　　・支店：高田馬場支店
・種類：普通預金　　・口座：053-1615275
・名義：在日大韓基督教会総会

＜関東・中部地方会＞青年連合会 合同修養会開催

5月3日(金)～4日(土)、山梨県河口湖近郊にある宿「丸弥荘」にて青年会関東地方会連合会(関東連)と中部地方会青年連合会(中部連)による春の合同修養会が行われ、2つの地方会が交わりの時を持った。27名の青年と牧師任2名、伝道師任1名の総勢30名の参加があった。

1日目、各地方の青年の到着と共に開会礼拝が行われた。長野教会の崔和植牧師任のギターを用いた賛美リード、メッセージで大きな励ましを戴き、修養会がスタートした。礼拝後、分団ごとのチームに分かれバスケットとキックベースを行なった。関東・中部の初参加者が活躍を見せ、大きな盛り上がりと共に地方会間の交流を持った。そのままBBQとなり、みんなで夕食を楽しんだ。

夜の講演プログラムでは関東・中部連より二人の若手役員が、修養会テーマ：「言葉と共に歩む～他者と向き合い、キリストと出逢う～」を基に証を行った。涙を流し、声を震わせながら自分のことを語る青年の姿に参加者一人一人が強く心を打たれた。

その後分団で講演の内容を分かち合う時間となり、一人一人が自分を語る場をもった。晩祷では半日という短い時間に起こった事、考えたこと、感じたことにそれぞれが想いを巡らせ、振り返る時間をもつことができた。その後交流会ゲームで盛り上がり、大きな熱を持ったまま1日目が終了した。2日目は、各分団で集まって発表の準備をし、分団発表を行なった。分団発表では参加者それぞれが修養会で感じた感想を述べ、その想いを全体で分かち合った。そして最後に閉会礼拝で横浜教会の李明忠牧師任によるメッセージを受け、祝福とともに修養会の幕を閉じた。

修養会後、中部連総会が開かれた。年間報告および新年度役員改選が行われた。2013年度中部連役員は会長：中野晃徳（名古屋）副会長：韓潔（名古屋）書記：尹信傑（名古屋）会計：金祥宇（長野）となり、これからの中部地方青年会を若い世代の青年たちが引っ張っていく、新しい風が吹いた総会となった。

今回の修養会は初参加者が非常に多く、新しい出会いに恵まれた。1泊2日というとても短い時間ではあったが、地方間青年たちの交流の深まりがあり、大きな恵みを受ける修養会となった。また本修養会で特に目立っていたのが20歳前後の青年の働きであった。世代交代が行われ、新青年が地方会青年会をリードしていく。強い希望を感じる修養会であった。このような機会を持てたことに喜び、感謝している。各地方で青年の世代交代が少しずつ行われている中ではあるが、今後も交わりをもって支えあいながら青年同士の絆を深めていけるようにと願いつつ報告を終えたい。

（報告：金祥宇）

＜西部地方会＞女性連合会 第12回　三役連席拡大会議

西部地方会女性連合会の第12回三役連席拡大会議が6月4日（火）午後1時より、姫路教会において出席者14名で開催された。礼拝は、李華順宣教部長の司会により始まり、韓澤柱牧師（姫路教会）が「神の家」（ネヘミヤ2：1-20）と題しての説教後　李炫知会長の司会により三役連席拡大会議が始まった。

2013年度の活動方針の内容確認と具体化する為の討議が行われた。今年の主な活動は、①第60回全国女性連合会定期大会時（7月1、2日）、②第26回修養会（9月～10月予定）、③信徒の集い（11月17日（主））、④復活祭合同讃美礼拝（2014年4月20日）である。

例年の行事であった一日研修会については、祈りの会をもつことになった。

西部地方会の諸教会の問題等について、西部地方会女性連合会が一つになり、祈りの会を持つことになった。姫路教会の師母が心のこもった茶菓子で茶話会をもち、今年の活動が主の導きによりよき働き人となるように祈った後、主の祈りで閉会した。（報告：兪貞恵）

創世記連続講解（20）

尹宗銀 牧師
（横浜教会名誉牧師）

創世記 38 章

創世記 38 章の総主題は、『ユダがタマルにだまされて罪を犯す』ことである。

① 1 - 5 節：ユダがカナン人のシュアと言う人の娘を見初めて結婚した。
② 6 -11 節：ユダの二人の息子たちが罰せられて死ぬ。
③ 12-23 節：ユダが子婦タマルを犯してしまう。
④ 24-30 節：タマルがユダによって双子を産む。

前章からヨセフの伝記の中に本章が挿入させられたのは理由がある。ルベン〔Reuben〕は不倫の罪によって長子の特権を失い、シメオン〔Shimeon〕とレビ〔Levi〕もシケム〔Shehem〕での殺人関係上捨てられ、その次はユダの順番である。彼もまた族姦の罪で捨てられたので、長子の祝福がヨセフに移るようになった。それでユダが非行に従って捨てられるようになった事実を明かす事が順序だと言える。

ユダは，多分兄弟たちと争った後、兄弟たちと別れて、アドラム人と親しくなりその近くに天幕を張った。アドラム人たちと親しく交わったことは不当なことであった。彼らの案内でユダがカナン人女を娶ったようである。カナンの女を娶ってはならないことは、イサクがヤコブに警告したことであったが、ユダはそれを無視してカナンの女を妻として娶ったのであった。不敬虔な結婚とその家庭で敬虔な子孫が生まれるはずがない。長子エル〔Er〕の罪と次男オナン〔Onan〕の避妊罪は神から直接に懲罰された。

本章でおもに現れた罪は、ユダの罪である。それは息子の嫁タマル〔Tamar〕を犯したからである。タマルは巧妙な手段でユダをだまして罪を犯すようにした。もちろんタマルの犯罪の理由の一つは、手段方法を弁えることまで気にしないで、ユダの血統を継承する欲望である。

本章は、言葉では現せない罪悪の面の暴露であると言えるが、驚くべきことは、このような中でペレツ〔Pharez〕が、ダビデの祖先となり（ルツ 4：18-22）メシアの系図の中で『ユダはタマルによってペレツをもうけた』（マタイ 1 ： 3）と証言している。これによって認識することは、人間の不義失敗を超越する神の摂理は恵みであるとしか言えない。

創世記 39 章

創世記 39 章の総主題は、『ヨセフが誘惑から勝利する』となっている。歴史的には前章に比べれば 2 年の時が流れた。

①1- 6節:ヨセフがポティファル〔Potiphar〕の家の管理人になる。
②7-13 節：ポティファルの妻の誘惑とヨセフがそれを拒絶する。
③ 14-18 節：ポティファルの妻がヨセフを苦しめようと謀略する。
④ 19-23 節：ヨセフが濡れ衣を着せられて投獄される。

前章は、性〔sex〕の失敗を記録していたが、本章は、性の誘惑の勝利を記録している。前章の主人公はユダであるが、本章の主人公はヨセフである。ヨセフはエジプトに売られて行ったが、神が共におられたので、享通した。日本語にはないが、韓国語に『享通する』と言う言葉がある。その意味は『万事が思うようになること』である。それで『万事享通』という熟語がある。

エジプト人ポティファルが、ヨセフの人格と働きに神が共におられることを悟り、家事一切をヨセフに一任した。好事多魔で主婦の絶え間ない誘惑は、ヨセフにとっては恐ろしい試みとなった。他郷の孤独と青春の情欲には勇士がないが、彼は神を恐れるゆえに主婦の誘惑を一蹴してしまった。

誘惑を克服する方法は、逃避することである。たとえ初めは抵抗したとしても、誘惑は再三波状的に来襲する。徐々に抵抗力が弱くなった時、虜になってしまう。ヨセフの誘惑に対する勝利は、相手の悪宣伝に良い機会となった。

主人の怒りをつのらせて主婦の一方的な言葉だけで、ヨセフは牢に投獄されてしまった。これが正直と聖潔に対する人間の報酬であると同時に、神の摂理〔providence〕が始まる。摂理とは、「人間の歴史と生命にかかわる神の目的と計画に従い、被造界のすべてを保持し、支え、統治する、神の継続的な行為に関するキリスト教的な理解」である。

ヨセフの前途は、人間側では前進するほど暗黒である。父の愛される息子として、主人の忠実な僕として、不実の濡れ衣を着せられて万里他郷で囚人として生きる他なかった。しかし獄中の中にいても神が共におられるので、享通するようになった。人の僕としている時も、獄中で囚人としている時も変わることなく、神を信じて神中心の生活であった。彼はどんな場合でも神の摂理を信じていた。

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。（テサロニケの信徒への手紙 5:16 ～ 18）

2013年度　全国教役者研修会
韓国（龍仁）で開催

去る6月17日（月）から19日（水）まで、教育委員会主催で、「韓国基督教会歴史探訪」と題して、韓国の龍仁韓和リゾートにおいて全国教役者研修会が開催された。

開会礼拝は、教育委員長である李聖雨牧師（明石教会）の司会で、金武士牧師（大阪西成教会、総会長）は、「主が耳を傾け、聞かれたことば」（マラキ書3：13－18）と題して説教した。金牧師は、「教役者は神に仕える者である。人々に失望されても、また教会員がどんな人であっても神さまにつながっていれば、み言葉を成就してくださる」と言い、「自分は、教会での行政と行事の力は全くないが、教会員と共に聖書を学ぶことは大きな喜びである」と告白した。それで、「教役者は、各自にそれぞれ与えられた賜物を大事にして、神さまのメッセージを正しく語り、交わることができるようにして行こう」と述べた。最後は、崔正剛牧師（博多教会）の祝祷で終わった。

礼拝後、金明均牧師（教育部書記・福岡中央教会）と呉寿恵主事のよってオリエンテーションがあった。夕食は、大韓イエス教長老会（統合）の慶幾老獪からの交流会を兼ねて接待を受けた。その後、曺泳石牧師（盤石教会）の司会で、主題講演がはじまった。まず、金永柱牧師の祈りの後、李聖雨牧師が講師を紹介した。講師である李漢洙教授（総神大・新約学）は、「十字架、世の変化された意味（십자가, 세상의 변화된 의미）」（ヘブライ書13：12－16）と題して牧会者のようなたから強い講演をした。

まず李教授は、ヘブライ信徒への手紙を通して、初代教会の発生から発展と成長過程においての唯一信仰の論争と戦いなどについて歴史と聖書を踏まえて詳しく述べた。そしてユダヤ人たちは、キリスト者への迫害によって外に逃れることになり、エルサレム神殿中心の信仰から変わって行ったことを確認した。それによって、神さまの臨在の場所が限定的な所からどこにもおられることが分かった。神さまの臨在の場所が変わったのである。

「門の中に閉じ込められていた神さまが外にもいることを知ることによって、祭儀も変わって行った。それが讃美と善行である。どこにもおられる神さまを信じ、臨在を確認し合って生きる信仰が大事である」と述べ、教役者たちに多くの感銘を与え召命を再確認させた。

講演後は、一同が心を合わせて声を出しながら祈った。初日は、関東地方会の祈りの当番だったため、許伯基牧師（つくば東京教会）が日本語で祈りを、金海奎牧師（東京教会）が韓国語でそれぞれ祈りをしてから一日目が終わった。

二日目は、朝食後は記念撮影をして、雨の中で現場見学を行った。まず、韓国基督教殉教者記念館へ行った。そして、韓国最初の自立教会を復元した（総神大ヤンジキャンパス）松川（ソレ）教会と総神文巣基督教博物館を見学した。昼食後は、ソウルにある揚花津外国人宣教師墓地と記念館、そしてカトリック教会の殉教聖地である切頭山記念館を訪問した。

夕食後は、各委員会と総幹事の報告があり、全聖三牧師（布施教会）の司会で、個々人が一人ずつ前に出て自己紹介や研修会の感想などをすることにより、教役者たち同士で大きな交わりにつながった。その後、前日と同じく一同が心を一つにして切実に祈った。そして、権寧国牧師（福岡教会）が代表して祈って二日目が修了した。

三日目は、朝食後に、ソウルにあるソマン教会を訪問して、担任牧師からの挨拶と李サムエル牧師（ソマン教会宣教委員長）の教会案内後、教育館で趙重來牧師（副総会長・船橋教会）で閉会礼拝をした。金明均牧師（福岡中央教会）の祈りの後、李サムエル牧師がエレミヤ書20：7－11のみ言葉で、「宣教とは、そこで暮らすことである」と説教した。最後に、案内を担当した女性宣教会のメンバーによる祝福の讃美があった。

この牧師研修会のために、東光教会が2泊3日間バスと援助金を提供したし、京幾老獪と総神大とソマン教会は豊かな食事を奉仕した。また、今年の総会で教育部での奉仕を終える予定である呉寿恵主事に対して、教育委員会からの金一封を李聖雨牧師が感謝を込めて渡すことで、学びと見学の牧師研修会が恵みの中で終了した。

（報告：編集部）